

08/973424

5718 Rec'd PCT/PTO 11 AUG 2003

REQUEST FOR SENDING OF CERTIFIED PRIORITY DOCUMENT

To: The Commissioner of the Patent Office

1. Indication of PCT Application

PCT Application filed on April 8, 1997

2. Indication of Application forming the bases of priority

Patent Application No. 110556/1996

3. Applicant

Name : FANUC LTD

Address : 3580, Shibokusa Aza-komanba, Oshino-mura,
Minamitsuru-gun, Yamanashi, 401-05 Japan

Country of Nationality: Japan

Residence : Japan

4. Attorney

Name : (8230) Shoji TAKEMOTO, patent attorney

Address : 2F., Yamagata Bldg., 23-10, Toranomon 1-chome,
Minato-ku, Tokyo, 105 Japan

5. List of Attached Document

(1) Request to certify priority of patent application
No. 110556/1996 <1>

整理番号 P 1 2 6 0

発送番号 3 4 3 9 6 2

発送日 平成14年11月 5日 1 / 2

拒絶理由通知書

特許出願の番号	平成 8年 特許願 第110556号
起案日	平成14年 9月17日
特許庁審査官	柏崎 康司 8310 2K00
特許出願人代理人	竹本 松司 (外 4名) 様
適用条文	第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

請求項1-6

特開平07-099358号公報

(折り返し鏡を経由して形成される光路が、スラブ型固体レーザ媒質の長手方向を挟むように傾斜して形成されている点)

スラブ型レーザの光束半径、アパーチャ形状は、当業者が必要に応じて適宜設計し得た事項であり（例としては、上記引例のほか、特開平04-259275号公報などを参照されたい。）である。

強度分布を考慮することは、従来から認識されている（例えば、特開平06-268289号公報などを参照されたい。）事項である。

この拒絶理由通知書に不明な点がある場合、又は、この事件について面接を希望する場合は、特許庁 特許審査第1部 光デバイス 柏崎康司 (E-MAIL; kashiwazaki-yasushi@jpo.go.jp, Phone; 03-3581-1101 内線3253)まで、御連絡ください。なお、電子メールをいただく際には、表題に事件番号を記載の上、末尾に所属とお名前を記載してください。

発送番号 343962

2 / 2

先行技術文献調査結果の記録

調査分野 (INT. CL. 7 H10S 3/00-3/30)

なお、この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではありません。